

# 研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

## 咽頭・喉頭がんに対する治療成績の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2018年1月1日から2025年10月10日までの昭和医科大学病院頭頸部腫瘍センターで咽頭がん・喉頭がんの治療を受けた患者さん

### 2. 研究目的・方法

咽頭・喉頭は摂食・嚥下や発声などの日常生活における重要な機能を果たす臓器です。そのため、咽頭・喉頭がんの治療戦略において、病気を根治することとその重要な機能の温存・再建を併せて検討することが重要になります。

咽頭・喉頭がんに対する治療戦略は病期分類によって手術や化学療法、放射線治療などを単独または組み合わせた様々な治療法が選択されます。しかし、対象臓器が日常生活に密接に関係することから患者さんそれぞれによって治療を選択される基準は様々です。例えば根治性から考慮すると手術が適応となる場合でも、患者さんが喉頭温存（発声機能の温存）を強く望む場合は、化学療法や放射線治療を選択されることもあります。

本研究は患者さんのそうした背景を考慮しつつ選択された治療によって、どのような治療関連合併症が生じ、どのように機能温存または機能再建がされ、どのような治療成績となっているかを解析することで、今後の治療法選択基準の新たな指標となることを目的としています。これまでの咽頭・喉頭がん患者さんの治療に関する様々な臨床情報を収集して、治療方針ごとにどのような治療成績となるかを解析します。

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027年3月31日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床所見（年齢、性別、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、生活背景、ECOG PS、ASA PS、原疾患の情報、臨床病期、重複癌の有無・治療介入方法）

血液検査（血算、生化学、凝固系）

画像所見（CT、MRI、PET、喉頭ファイバー、単純撮影、上部消化管内視鏡）

病理組織学的所見（組織型、転移リンパ節所見）

治療情報（治療方法、治療経過、有害事象、合併症、予後）

**5. 外部への試料・情報の提供**

該当致しません

**6. 研究組織**

研究責任者 昭和医科大学 頭頸部腫瘍センター 助教（医科） 旭 宣明

研究分担者 昭和医科大学 頭頸部腫瘍センター 教授 福島 啓文

昭和医科大学 頭頸部腫瘍センター 講師 齊藤 芳郎

昭和医科大学 頭頸部腫瘍センター 講師 森田 琢磨

昭和医科大学 頭頸部腫瘍センター 助教 北嶋 達也

昭和医科大学 頭頸部腫瘍センター 助教 堅田 凌悟

昭和医科大学 頭頸部腫瘍センター 助教（歯科） 今野 瑶士

研究協力者 昭和医科大学 頭頸部腫瘍センター 教授/センター長 鳴根 俊和

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 頭頸部腫瘍センター 氏名：旭 宣明

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8561